

保育園らしくない保育園・事業設計業務に係る基本的な構想

令和6年3月25日

江府町役場 総務課

1. 趣旨・・・多様な人との出会い、人を介して発生する体験を重ね、社会性を育む保育園

本町の課題事項である「1. 少子化による子どもたちの活動・体験機会の減少」「2. 人口減少による子どもたちが多様な人と出会う・多様性に触れ、理解する機会の減少」「3. 子どもの遊び場の提供」「4. 老朽化した現保育所の更新」など、各課題解決に向けて、地域交流型保育園を建設するものである。

同年代の子ども（園児）が年々減少している江府町では、以前と比べて「子どもが他人と関わる機会」が稀薄になりつつあります。また、1クラスあたり平均して10人前後という小規模なコミュニティ関係が中学生まで続く現環境から、少人数の集団での生活に慣れ過ぎ、多様な人と触れ合う機会が減ってしまう事で将来的に大規模な集団（コミュニティ）に適応するのに時間がかかる、適応できない、または社会的な苦手意識が生まれるといった、社会性の領域における懸念が想定されます。そこで江府町では、特に重要とされる保育時期における人との出会い、人を介して発生する様々な体験機会を最重要項目に設定し、多くの人と出会い、様々な体験を重ねながら特に社会性について成長することができる保育園の建築を行うものである。

2. 基本理念

ア 保育園らしくない保育園 コンセプト

設計については、全てコンセプトに基づいたものものとする。

屋内部分及び屋外部分の全ては、同じ考え方にに基づき、デザイン設計をおこなうこと。

「多様性が府を成し、育む社会性」 ※別紙コンセプトbook参照

多様な人々との繋がり、社会性を育むための取り組みを象徴的且つ端的に表しています。

ここでの「多様性」とは、地域の方々、保護者、地域外の人々など、さまざまなバックグラウンドを持つ人々とのつながりを意味します。こうしたつながりを通して、子どもはさまざまな価値観や考え方に触れ、社会性を育むことができると考えます。

また、同時に子どもの社会性育成を行うことは、他者との関わりの中で、自分と他者の違いを知り、理解し、共感する過程で、感性やイマジネーションも育むこととなります。

そしてこのコンセプトは、江府町が「川が集る府」であるように、新しい保育園も多様な人々とのつながりによって、「多様性が府を成し、育む社会性」となるように、という願いを込めています。

イ 子どもの国保育園 保育理念

(ア) 保育理念 ○思いやりのある心豊かな人を育てる

(イ) 保育目標 ○仲間とともに様々な体験を通して生きる力を育てる

(ウ) 全体目標 ○日々の生活の中で健康習慣を身につけ、落ち着いた雰囲気の中で生活をする。
○遊びを通して生活経験を広げ、友達と関わり意欲的に活動する。
○縦割りクラス編成の中で様々な活動を通して、友達関係を深めていく。

具体的目標

年齢別年間目標	
0歳児	清潔で安全な環境の中で安心して 個々のリズムを整えながら、ゆったりと過ごす。
1歳児	保育者に親しみ安定した情緒の中で生活して過ごす。
2歳児	保育者との安定した関わりの中で、 基本的な生活習慣を身につけ、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。
3歳児	保育者や友達と遊ぶ中で自分のしたいこと、 言いたいことを言葉や行動でできるようにする。
4歳児	保育者や友達との関わりを深め、友達の気持ちに気づき 集団で行動できるようにする。
5歳児	友達と協力したり、考えたりしながら、様々な事に挑戦し 自信を獲得していく。

3. 参考

(1) 厚生労働省「保育所保育指針」(4) 保育の環境

保育の環境には、保育士や子ども等の人的環境、施設や遊具などの物的環境、更には自然や社会の事象などがある。保育所は、こうした人、物、場などの環境が相互に関係し合い、子どもの生活が豊かなものとなるよう、次の事項に留意しつつ、計画的に環境を構成し、工夫して保育しなければならない。

- (ア) 子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し、様々な経験を積んで行くことができるように配慮すること
- (イ) 子どもの活動が豊かに展開されるように、保育所の整備や環境を整え、保育所の保健的環境や安全の確保などに努めること。
- (ウ) 保育室は、温かな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるように配慮すること。
- (エ) 子どもが人と関わる力を育てていくために、子ども自ら周囲の子どもや大人と関わっていくことができる環境を整えること。

4. 新築目標年度 ○

令和8年度～令和9年度の完成を目指す。

5. 子供の国保育園の現状 ○

ア 保育理念

○思いやりのある心豊かな人を育てる

イ 保育目標

○仲間とともに様々な体験を通して生きる力を育てる

ウ 全体目標

○日々の生活の中で健康習慣を身につけ、落ち着いた雰囲気の中で生活をする。

○遊びを通して生活経験を広げ、友達と関わり意欲的に活動する。

○縦割りクラス編成の中で様々な活動を通して、友達関係を深めていく。

エ 具体的目標

年齢別年間目標	
0歳児	清潔で安全な環境の中で安心して 個々のリズムを整えながら、ゆったりと過ごす。
1歳児	保育者に親しみ安定した情緒の中で生活して過ごす。
2歳児	保育者との安定した関わりの中で、 基本的な生活習慣を身につけ、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る。
3歳児	保育者や友達と遊ぶ中で自分のしたいこと、 言いたいことを言葉や行動でできるようにする。
4歳児	保育者や友達との関わりを深め、友達の気持ちに気づき 集団で行動できるようにする。
5歳児	友達と協力したり、考えたりしながら、様々な事に挑戦し 自信を獲得していく。

※新たな保育園の目標等については、コンセプトを含めた目標を今後設定していく

オ 現保育所園児定員数及びクラス(令和6年4月1日 予定)

子供の国保育園 (仮称)	園児数	クラス数
0歳児	0	1
1歳児	12	1
2歳児	12	1
3歳児	15	1
4歳児	14	1
5歳児	9	1
全体	62	6

カ 子供の国保育園 職員数 計22名 (令和6年4月1日 予定)

キ 敷地面積 約5100㎡ ※ 参考数値 : 現保育園の園舎面積 約1500㎡

保育園らしくない保育園・事業設計業務 整備予定地概要

1. 整備予定地(仮)

下記の資料は、佐川地区にある約5100㎡の整備予定地です。



2. 現「子供の国保育園」

